



# 社会新報 (岡山県連合版)

2017年5月1日  
(憲法記念特集)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)  
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3  
Tel.03-3592-7515 1部 184円・月700円  
発行責任者 武本恒夫

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: shamin.okayama@fancy.ocn.ne.jp

## 祝! 第88回メーデー



今年も5・1の県内メーデーに連帯し、あいさつ、メッセー・シや連帯の「祝!」をメーデーチラシを配付した。写真は津山地区メーデー(宮田代表が連帯し挨拶)

### 沖縄の闘いに学ぶ旅 報告・宮田好夫

4月25日、27日と立憲主義と地方自治を守る地方議員の会が企画した沖縄視察があり、議員・市民13名が参加した。視察初日は嘉手納基地が見える道の駅へ、その後、県庁で比喜京子県議(社大党)との意見交換。当日、辺野古埋立が開始されたとあって、号外新聞を見ながらの講義となった。翌26日は辺野古グート前の座り込みに参加した後、高江のヘリパッド建設現場へ行き監視テントに入り住民の方と懇談した。



4/26、辺野古グート前座り込みに参加(写真:宮田好夫)

県下の働くみなさん。第88回メーデーおめでとうございます。メーデーは1886年5月1日、アメリカのシカゴで労働者が8時間労働制や労働条件改善を求めて立ち上がったことに始まり、世界の労働者へと広がりました。低賃金、長時間労働の改善の切実な要求を、働く者の団結と連帯によって実現していくことの大切さは今も変わるところか、過労死・自殺、時間外不払い労働の常態化などを見るとき、人が人らしく働き、生きるために喫緊の課題となっています。

いま、「働き方改革」が議論されていますが企業の都合の良い「働かせ方改革」にさせてはなりません。時間外労働の上限規制も繁忙期の「上限100時間」未滿を認めるなど、過労死ラインを超える長時間労働にお墨付きを与えるものであってはなりません。団結と統一で、働く者のための真の「働き方改革」を勝ちとろう。

(メーデーアピール抜粋)

午後から名護市庁で川野純(市総務部参事)らから「名護は基地の町といわれる。基地収入は7%程度であり、逆に返還された地域は再開発が進み、多くの雇用と経済効果が出ています。基地関連の財源に依存しなくとも市は運営で

最終日は、沖縄復帰と平和社会の実現を目指して命がけで戦った瀬長亀次郎の資料が

### 市民・野党で戦争法廃止のマイクを

おかやまいっぼんと野党4党が4月22日、戦争法廃止で共同街宣を行なった。呼びかけの「いっぼん」大坂圭子共同代表は「違憲の安保法制をなくす目的で活動を始め、野党・応援者を一人でも増やしたい。さらには共謀罪で、PTA活動だつて対象になる心配がある」と訴えた。

社民党・宮田新代表も「テロ準備罪に名を借りた共謀罪は内心や思想そのものを処罰対象にするもの」と批判した。また26日にも雨の中、社民党定例街宣で同様に訴えた。

### 党県連合活動日誌

- 4/9 おかやまいっぼん1周年記念集会
- 4/10 4区支部街宣・ピラ配布
- 4/13-14 新3役挨拶まわり(岡山・高梁・新見・津山)
- 4/19 おかやま労安C総会・ストップ戦争法・総がかり
- 4/21 時事問題こん話会(学習テーマ:共謀罪)
- 4/22 おかやまいっぼん・野党4党街宣
- 4/23 民進党大会あいさつ(宮田)
- 4/24 1・2区党員会議
- 4/25 JR福知山線脱線事故を問う集会・国労
- 4/26 党定例街宣(岡山)
- 4/26 人形峠質問会談(人形峠事業所) さよなら原発
- 4/28 憲法70周年記念講演会(平和センター)
- 4/30 岡山1・2区集中行動(共謀罪チラシ配付)
- 5/1 メーデー挨拶(津山)・アピール・ピラ入れ(岡山)など

「共謀罪」創設反対の緊急署名活動。協力ありがとうございます。追加も大歓迎をお願いします。



市民・4野党が街宣(マイクを持つ社民党宮田代表)

残されている「不屈館」や、ひめゆりの塔、沖縄県平和記念資料館を巡り、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える有意義な視察となった。(宮田)

### 定例学習・読者会

「新報」読者会  
5月9日(第2火) 18時  
弓之町「時事問題懇話会」  
5月19日(第3金) 18時  
\*聞きたい、話したい人歓迎  
いずれも岡山社会文化会館

「新報」読者会  
5月9日(第2火) 18時  
弓之町「時事問題懇話会」  
5月19日(第3金) 18時  
\*聞きたい、話したい人歓迎  
いずれも岡山社会文化会館

5月で連想する第一は青空に泳ぐ鯉のほりか。メーデーや憲法記念日は今は自転車を使うので、街中では自転車を止めてさわやかな季節もささやかな重さを感じない。安全なバスや自転車の専用レーンも停止しただけの左折信号は赤でも通すだけ、横断する歩行者も車がつづき、危険極まりない。駅前大型モーター車のため、歩行者・自転車の信号は早く赤になるうえ長待たされ、辺りに溢れることになる▼「日常の」ありふれた状況にもみえるが「当たり前」仕方がない、あきらめと様々でも、ゆつくりと人の「内心」に影響を与えてはいないだろうか▼「黒いネコ」を「白い」と言いつづければ「白ではないが灰色かな」と思うようになるとか▼「どのようなの外的秩序も、心の秩序に合致しない限り真の秩序はない」(三木清)